



“感謝を込めて”

HIROSHIMA

The 361st
Subscription Concert

SYMPHONY

Fri Jun 10 2016
Start 18:45 (Open 17:45)

ORCHESTRA

広島交響楽団 第361回定期演奏会

2016 **6.10** 金 18:45開演(17:45開場)

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

ヴァイオリン・ソロ & コンサートマスター：
フォルクハルト・シュトイデ
Volkhard Steude



ウィーン・フィル、コンサートマスター シュトイデ 深淵なる「未完成」

フォルクハルト・シュトイデ
広島交響楽団ミュージック・パートナー就任披露

シューベルト
イタリア風序曲第2番ハ長調 D.591
Schubert: Overture In the Italian Style No.2 in C major D.591

ブルッフ
ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 Op.26
Bruch: Violin Concerto No.1 in G minor Op.26


シューベルト
交響曲第7番ロ短調 D.759「未完成」
Schubert: Symphony No.7 in B minor D.759 "Unfinished"

チケット(税込/全席指定): S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円・学生券1,500円(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器
ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場・ローソンチケット(Lコード:65542)・チケットぴあ(Pコード:288-692)・中国新聞社読者広報部
中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売
チケット発売日:一般プレイガイド 2016年4月10日(日) / 広響事務局 2016年4月11日(月)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅られた場合、入場に制限がございます。

主 催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助 成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

プレミアム協賛 /  

後 援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、
広島ホームテレビ、広島エフエム放送、広島リビング新聞社、オーストリア大使館



私たちは、ピース・アーチ・ひろしまプロジェクトを応援しています。



広響公式ホームページ ▲



ピース・アーチ・ひろしまホームページ ▲

ウィーン・フィル、 コンサートマスター シュトイデ 深淵なる「未完成」

創立50周年定期での初共演で

世界最高峰のコンサートマスターの存在感を示したシュトイデ。指揮者なしでの交響曲演奏として、ベートーヴェンの第8番、第5番「運命」を経て、いよいよ音楽の深淵に迫る「未完成交響曲」に挑戦です。



©Wilfried Kazuki Hedenborg

ヴァイオリン・ソロ&コンサートマスター： フォルクハルト・シュトイデ Volkhard Steude

1971年ライプツィヒ生まれ。5歳より東ドイツ(当時)ブランデンブルク州コトブスの音楽学校でヴァイオリンを学ぶ。1987年に東ドイツのジュニア向けコンクールで第2位獲得。1988年からベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学にてヨアヒム・シュルツとヴェルナー・シュルツ教授の下で学び始める。国際コンクールで受賞を重ねる。

1993年にはグスタフ・マーラー・ユェグントオーケストラの第1コンサートマスターになる。1994年3月にベルリンの大学でディプローム取得の後、ウィーンに移り、アルフレート・シュタル教授の下で更に研鑽を積む。

1994年11月にはウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに弱冠23歳で就任。更に2000年からはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務めている。

日本にはトヨタ自動車主催による『トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーン』のコンサートマスターとしても度々来日しており、多くのファンを獲得している。

また、ウィーン・フィルでは、ジュゼッペ・シノーポリやダニエル・バレンボイムの指揮によりソリストとしても共演しているほか、ヨーロッパと日本で数多くのソロ活動を展開(ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲と三重協奏曲、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲小短調と二重協奏曲二短調、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲イ長調と二長調、シンフォニア・コンチェルトタンテ、シベリウスのヴァイオリン協奏曲、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲など)。その多くが放送用にライブ録音され、またCDとしてリリースされている。

室内楽にも熱心に取り組んでおり、2002年からはウィーン・フィルのメンバーで構成される室内楽アンサンブル、ウィーン・ヴィルトウオーゼンのコンサートマスターも務める。また同じく2002年にシュトイデ弦楽四重奏団が結成され、ウィーン楽友協会定期演奏会を開催するほか、ヨーロッパ内及び日本で度々ツアーを行うなど、その活動は非常に注目を集めている。

2016年4月より広島交響楽団ミュージック・パートナーに就任。

使用楽器は1718年製のアントニウス・ストラディヴァリウス(ヴィオッティ、ロゼらがかつて所有)で、オーストリア国立銀行より貸与されている。

次回演奏会

2016 7.8金 第362回定期演奏会

広島文化学園HBGホール
18:45開演(17:45開場)



©Naoya Yamaguchi

(指揮)下野 竜也



(オーボエ)セリーヌ・モワネ

次期音楽総監督、下野竜也の“祈り”

ベンデレッキ シャコンヌ(ポーランド・レクイエムより)

J.S.バッハ(齋藤秀雄 編曲) シャコンヌ(パルティータ第2番ニ短調 BWV1004より)

マルティヌー オーボエ協奏曲 H.353

ブリテン シンフォニア・ダ・レクイエム Op.20

次期監督として秋山からのバトンを託される下野竜也の決意を強く感じるプログラムとなりました。中でも秋山の師である、齋藤秀雄編曲のバッハ「シャコンヌ」や震災の翌年2012年3月に秋山の指揮で名演を聴かせた、東京公演でのブリテン「シンフォニア・ダ・レクイエム」を取り入れ、世界的女流オーボエイスト、セリーヌ・モワネを起用し、一夜のコンサートを演出する発想はさすがです。

あなただけの
マイシート

中期定期会員募集中!

[平和の夕べ]+定期3公演
全4公演

S席/16,500円 A席/15,000円 B席/13,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(4月18日から8月4日まで受付)